

# 令和8年度 学校評価報告書(目標設定)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎・基本の定着と、生涯にわたり学ぶ姿勢の礎となる学び方の獲得を図り、発展的探究的な専門学科の学びを通じて自立した学習者を育てる。</p> <p>②生徒がいろいろな活動に主体的、積極的に取り組む態度を養う。</p>	<p>①「教えて考えさせ、生徒がアウトプットする授業」を展開していくにあたり、定期的に職員による勉強会を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間確保に向けた、改善・調整を実施する。</li> </ul> <p>②学校行事や委員会活動において、生徒が主体的に企画・運営・振り返りを行えるよう、支援体制を整える。</p>	<p>①教えて考えさせる授業の展開に向け、教科間の枠を越えた授業見学を実施する。研究会を年間行事の中に位置づけ、毎月実施する。課題などをフィードバックし次年度に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前日課や短縮授業における授業時間の見直しを行うとともに、各行事の調整や授業変更等を行う。</li> </ul> <p>②生徒会本部役員や各委員会の生徒と職員が連携し、生徒主体による行事の企画・運営を推進する。</p>	<p>①職員対象の研究会が定期的の実施できたか。また、生徒による授業評価の4の項目が8割以上達成できたか。フィードバックした結果を職員間で共有できたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の年間授業時間数が令和7年度よりも向上したか。年度末時点の各曜日・時間の授業時間数が均等になっているか。</li> </ul> <p>②各行事の終了後に生徒・職員にアンケートを実施して、生徒の主体性の向上と連携体制の有効性を検証する。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①規律ある学校生活を送れ、生徒・保護者が理解できるよう、規則の見直しをする。</p> <p>②講演会や授業の中で、自己肯定感とコミュニケーション力を高められるよう取り組む。</p> <p>③教育相談体制の確立と生徒の様々な困り感に寄り添った支援を行う。</p>	<p>①生徒が規律ある学校生活を送れるよう行動目標を設定し、現行の規則の課題整理と見直しを進める。</p> <p>②自己肯定感やコミュニケーション力向上に繋がる資料や機会を提供する。</p> <p>③サポートドックや包括的マネジメント調査の結果の活用方法を理解し、より丁寧な生徒に寄り添った支援を行う。</p>	<p>①生徒が規律ある学校生活を送れるよう短期目標に基づく行動を促し、委員会やLHRを通して意見を取り入れながら規則の課題整理と見直しを進める。</p> <p>②自己肯定感やコミュニケーション力向上に繋がる資料の選定やLHRなどの機会を有効的に活用して行う。</p> <p>③SC・SSW・業者から調査結果の活用方法を学び、生徒状況を的確に把握し、寄り添った支援や面談リストの作成に生かす。</p>	<p>①生徒が規律ある学校生活を送れるよう短期目標による行動や意識の変容、生徒の意見を踏まえた規則の課題整理、見直し案の共有と意見反映ができたか。</p> <p>②自己肯定感やコミュニケーション力向上に繋がる資料の選定及びLHRなどの機会を有効的に活用して実施できたか。</p> <p>③調査結果を活用し、生徒の状況を的確に判断するとともに、生徒に寄り添った支援及び面談リストを作成できたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①現実的に社会や職業の理解を深め、将来どのように社会に参画していくかを考えることができる力を養う。</p>	<p>①自分の進路を、将来働くことを考えて選択できる力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業観、勤労観の育成を図る。</li> </ul>	<p>①コミュニケーション能力向上のため、ガイダンスや文書作成指導を充実させる。基礎学力向上の啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験への参加を推進する。</li> </ul>	<p>①コミュニケーション能力向上につながるガイダンスを実施することができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験参加者数が増えたか。評価で肯定的意見が7割以上を達成できたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	<p>①各種機関との連携や情報発信等により、地域等における本校の理解促進を行い、学校教育の充実を図る。</p>	<p>①本校の魅力を積極的に情報発信する。地域等における本校の理解促進を促し、情報発信の拡充を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官の連携を推進し、学校教育の充実を図る。</li> </ul>	<p>①授業での活動や学校行事、地域連携、日常の様子等について、本校ホームページの拡充を行うとともに、SNSを通じた情報発信の方法を検討し、準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や開成町との連携、外部講師等を活用した授業を展開する。</li> </ul>	<p>①学校説明会・体験入学等でアンケートを実施し、本校のホームページ等の情報が本校の理解につながったという回答が8割以上得られたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官と連携した授業、講演、体験活動等が実施できたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<p>①安心安全な学校生活のため教育環境を整備する。</p> <p>②効率的で効果的な業務遂行に努め、働き方改革を推進するとともに、教職員が教育者としての自覚と責任を持って行動するよう不祥事防止に努める。</p>	<p>①開成町防災担当者との協議を継続し、災害時の連携内容や役割分担の具体化を図る。また、定期的な安全点検を実施し、改善案を作成する。</p> <p>②業務内容の精選およびICTの活用による業務改善を推進し、教職員の長時間労働の是正を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事防止への意識向上を図るため、主体的に取り組める体制づくりを行う。</li> </ul>	<p>①開成町防災担当者との打ち合わせを行う。また校内安全点検、教室環境点検を実施する</p> <p>②産業医と協働しながら、会議のペーパーレス化や学校・家庭連絡システムの活用を推進し、業務効率化を通じて長時間労働の是正を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事防止研修等への全職員の主体的な参加を促す。</li> </ul>	<p>①連携内容、役割分担が具体的に作成できたか。また、点検結果から、改善案を提示できたか。</p> <p>②長時間労働者が減少しているか。また、一人あたりの労働時間数が減少しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施している不祥事防止研修会に全教職員が主体的に参加し、不祥事を未然に防止できたか。</li> </ul>